

分科会開催報告書

報告日 令和元年 8月 1日	報告者 小 幡 友 子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 131回浮雲俳句会
開催日時 令和元年 7月 28日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女6名 合計 17名 欠席者 0名	

実施内容

第131回例会は、兼題①石廊崎②地理(晩夏)他に当季雑詠2句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、菅井三旦会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞及び、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	七島を夏霧隠す石廊崎	とも女
地賞句	夏潮を翔けゆく白帆鳥のごと	和 女
人賞句	石廊崎夏の星空耀けり	三 旦
特選句	炎天下飽きぬ荒磯廻石廊崎	國 眼
	叫んでも君の名砕かむ土用波	春 駒
	寝る稚児にやさしき風の団扇かな	重 九
	穂高下り店先水に青林檎	あきえ
	ゆかりの地瀬戸は日暮れてナイターに	一 馬

会員高点句

10点句	肘枕月下美人の眠るまで	とも女
7点句	炎天下飽きぬ荒磯廻石廊崎	國 眼
7点句	砂の城攻め落したる土用波	一 清

次回の予定

令和元年8月25日(日)午前9時30分～午前11時30分
能見台地区センター多目的室—A—132回例会の兼題は、①潮岬②人事(初秋)他に当季雑詠2句。
披講 鈴木勇平会員